

(別紙4(2))

事業所名 グループホームふれあい 1F2F

目標達成計画

作成日: 平成 27年 2月 21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	職員の間で、利用者の特定の情報や出来事を、利用者との共有空間であるフロアで話す事があり、プライバシーが確保されていない。	フロアで利用者の特定の情報や、不利益になるような話しは控える事で、各利用者のプライバシーの確保に努め、過ごしやすい環境作りを目指し、利用者の満足、QOLの向上に繋げる。	プライバシーを確保することの意義や、重要性を職員に説明し、尊厳の維持等の意識も高めていく。又、必要であれば事務所や、浴室等、周りに聞こえないように、配慮して話すように説明していく。	3ヶ月
2	1	「誠意・信頼・責任」を理念に掲げ、朝礼の時間に唱和しているが、抽象的である為、日々のケアで反映して実践できているのか、不透明である。	職員全員が、理念に基づいた対応や、ケアの提供に繋がっている事を実感でき、それにより、利用者、家族の満足を得られるようにする。	運営理念を基盤に、分かりやすい、具体的な目標を設定する。朝礼時唱和し、浸透させていく事で、職員が実際のケアに反映されているのが、実感出来るようにする。	6ヶ月
3	26	介護計画作成時、利用者、家族、診療情報提供書等の意見や希望を反映させているが、カンファレンスにおいては職員で行っていて、必ずしも利用者等の意見を、反映しているとは言えない。	現状に即した介護計画の作成をする為、特に利用者、家族の方にも、密に連絡し、介護計画の作成にも積極的に意見を出して頂けるようにし、よりよいサービスを提供する事に繋げる。	利用者ニーズの抽出を心がけるよう、職員に説明する。家族面会時等には、利用者の状況を説明し、家族の意向を、日頃から伺うようにする。又、こちらからも、ケアカンファレンス参加等連絡し、面談出来る機会を増やしていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月